

平成20年12月25日
原子力安全対策課
(2 0 - 8 8)
<15時記者発表>

敦賀発電所 1 号機の定期検査状況について
(中央制御室換気空調系外気取り入れダクトの腐食の調査状況)

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

敦賀発電所 1 号機（沸騰水型軽水炉；定格電気出力35.7万kW）は、平成20年11月 7 日から第32回定期検査中のところ、12月11日13時45分頃、中央制御室換気空調系^{*}の送風機試運転時に換気系室の点検を行っていたところ、当該系統の外気取り入れダクトに腐食孔（2箇所）が確認された。

このため、腐食孔の発生原因等について調査を行うこととした。

本事象による周辺環境への放射能の影響はなかった。

※ 中央制御室換気空調系

通常は外気を取り入れて中央制御室の換気を行うが、大気への放射能放出事故の発生時には、事故が収束するまでの間、運転員が中央制御室にとどまり、各種の監視、操作が行えるよう、外気を取り入れを遮断し、中央制御室の空気を高性能フィルタを介して内部循環させる系統。

[平成20年12月11日公表済]

[これまでの調査状況等]

当該ダクトについて、腐食孔が確認された周辺部を点検したところ、新たに5箇所線状の腐食孔（最大長さ約13cm）が確認された。

応急措置として、腐食孔の認められた箇所について、ダクト全周にわたり金属カバーで覆い、外気が直接送風機に吸い込まれないようにした。

その後、腐食孔の確認されたダクトの詳細な調査を実施するため、当該ダクトを取り外し、仮設ダクトを設置した。

[今後の予定]

今後、腐食孔の確認されたダクトについて、詳細な調査を実施する。

また、引き続き、ダクトの他の部位に異常がないかを確認する。

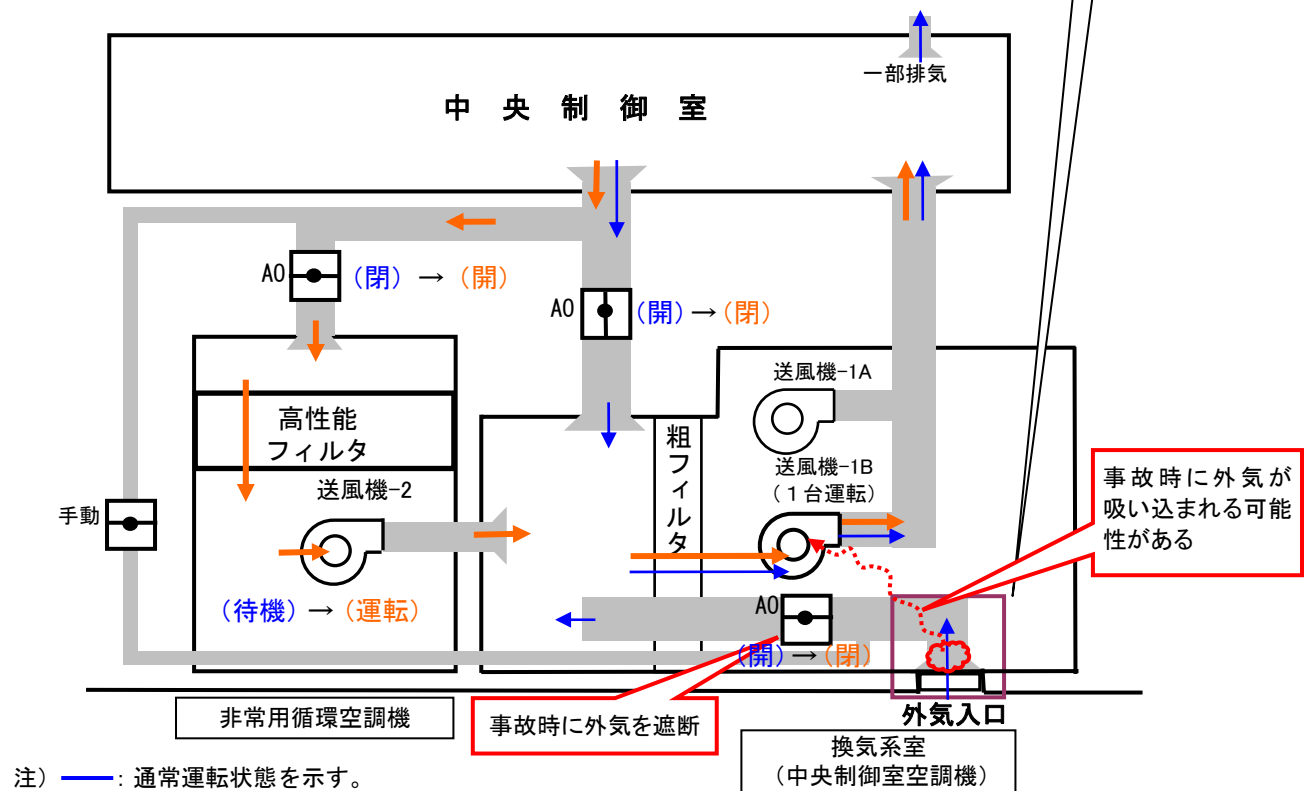
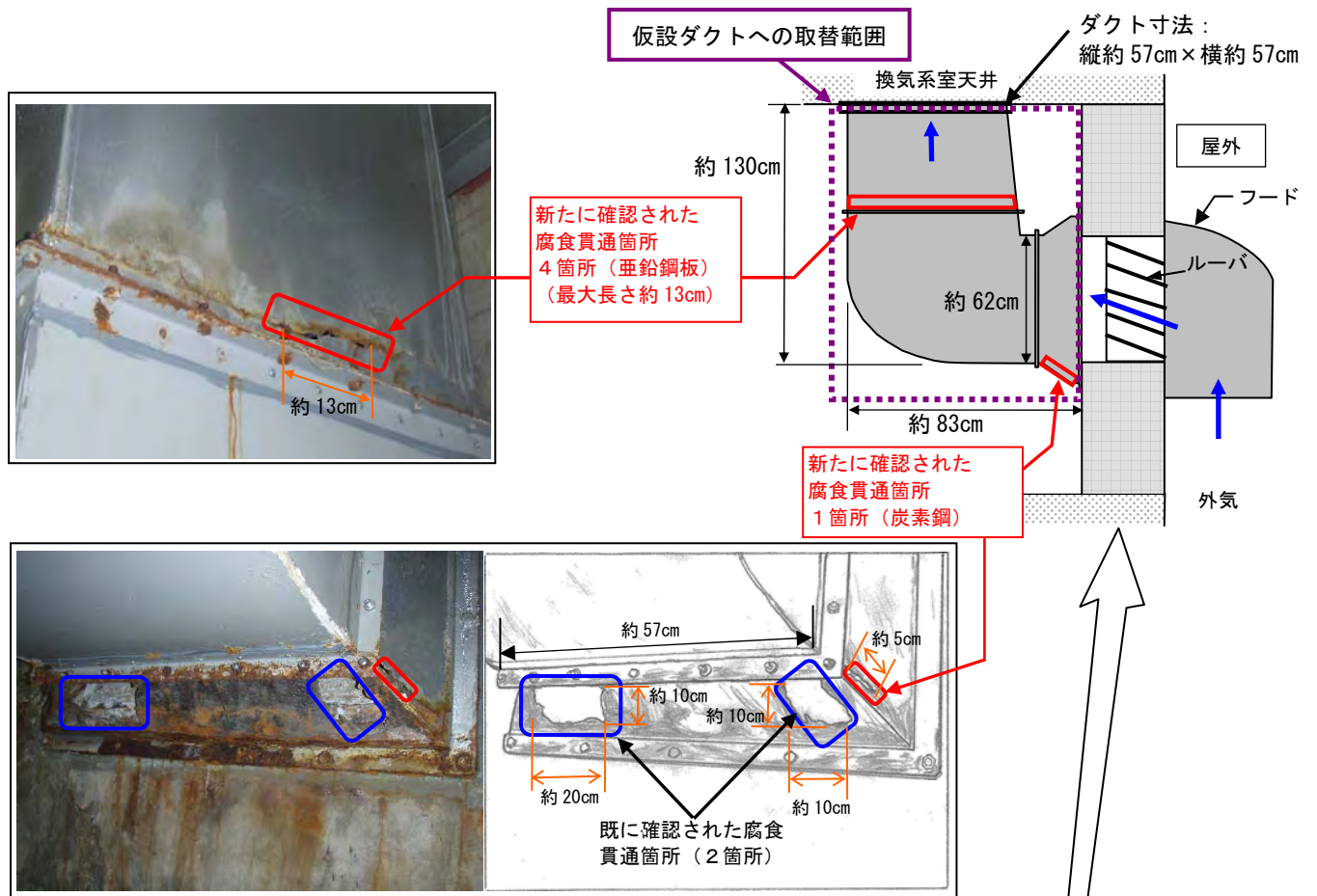
(経済産業省による I N E S の暫定評価尺度)

基準 1	基準 2	基準 3	評価レベル
—	—	0 +	0 +

I N E S : 国際原子力事象評価尺度

問い合わせ先(担当: 吉田) 内線2352・直通0776(20)0314

中央制御室換気空調系 系統図



- 注）
 青線：通常運転状態を示す。
 オレンジ線：非常時運転状態を示す。
 灰色線：ダクト
 A0：空気作動ダンパ
 手動：手動ダンパ